

令和3年度 出土品等整理作業概要

あわくぼ はやし 粟窪・林遺跡 / あわくぼ はやしだい 粟窪・林台遺跡 / あわくぼ よいしだ 粟窪・四石田遺跡

伊勢原市 No.71 / 伊勢原市 No.165



1. 3区 H10号住居跡遺物出土状況



2. 12区 H2号住居跡



3. 12区 H1号住居跡炭化材検出状況



4. 3区 H1号竪穴状遺構

●主な調査成果

台地の北東側に位置する粟窪・林台遺跡では、古墳時代前期と後期の竪穴住居跡や竪穴状遺構などが発見され、集落が営まれていたことが明らかになりました。前期の住居跡は炉が設けられており、壺、甕のほか、器台や伊勢湾岸地域に起源を持つS字状口縁台付甕と呼ばれる土器が出土しています。後期の住居跡はカマドが設けられています。建築材が炭化した状態で発見された住居があり、何の木が利用されていたのか知るために分析に出しています。竪穴状遺構は前期の遺構で、1基のみ見つかりました。1辺 2.5mほどの正方形に近い形をしており、炉は認められませんでした。床面からは台付の鉢、ミニチュアの台付甕等が出土しています。

- 調査期間 2010年10月1日～2014年6月30日、2014年8月1日～9月15日、2016年5月1日～6月30日、2017年12月1日～2018年5月15日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市粟窪
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北方約2kmの台地上および低地際

